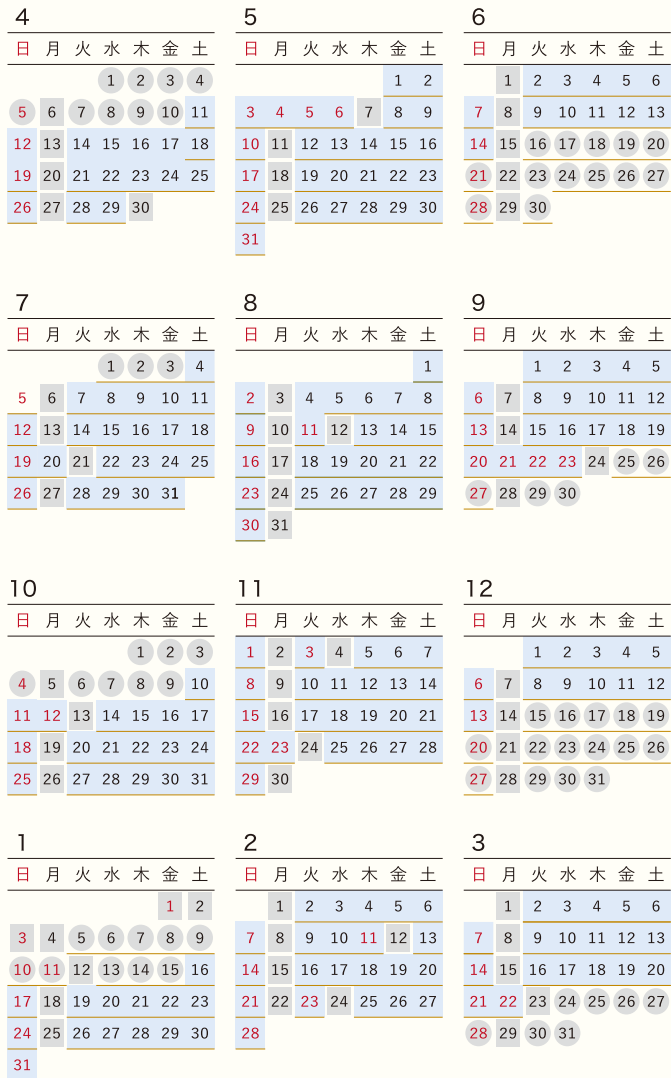


2026(令和8)年度

栃木市立美術館・文学館 展覧会カレンダー

2026 - 27 Calendar

*会期は変更する場合があります。



- 美術館企画展開催日 ……
- 文学館企画展開催日 ……
- 美術館の休館日 ……
- 美術館・文学館の休館日 ……

■ 美術館・文学館開館情報

開館時間 9:30~17:00(入館は16:30まで)

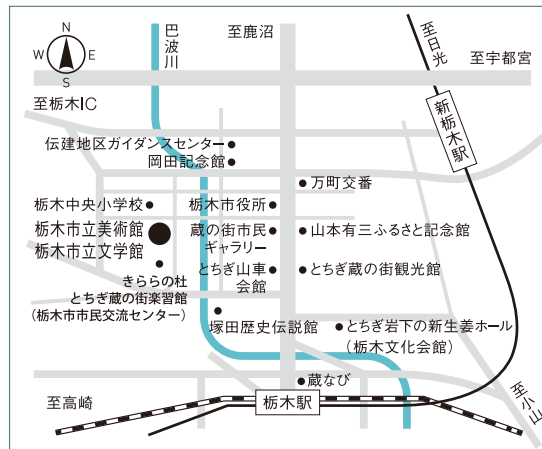
休館日 月曜日(祝日の場合は開館し、翌平日休館)
 祝日の翌日(土曜・日曜・祝日の場合は開館)
 年末年始(12/29~1/3)
 展示替えのための整理期間

観覧料 *各館の企画展観覧料には、収藏品展(美術館)、常設展(文学館)の観覧料が含まれます。
 *M割(ミュージアム割引)
 M割参加館の有料入館券(M割印押し印あり)を持って、入館日から6ヶ月以内にM割参加館に入館すると料金割引を受けられます。参加館については栃木県立博物館協会または当館公式サイトをご覧ください。

*東武沿線美術館連携事業
 下記的美術館で使用した入館券を各美術館受付にご提示いただくと、観覧料が割引になります。ただし、同一館での使用は対象外となります。*料金割引内容は参加館によって異なります。
 ・足利市立美術館 ・鹿沼市立川上澄生美術館 ・小杉菴記念日光美術館
 ・佐野市立吉澤記念美術館 ・草雲美術館 ・栃木市立美術館
 ・栃木市立文学館
 *他の割引制度との併用はできません。

無料日 *毎月第3日曜日「家庭の日」(中学生以下の方の同伴者2名まで)
 6/13(土)、14(日)県民の日、11/3(火・祝)文化の日

ウェブサイト <https://www.city.tochigi.lg.jp/site/museum/>

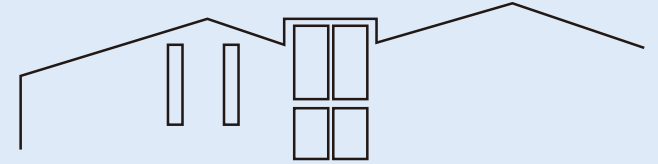


■ アクセス 電車 栃木駅(JR両毛線、東武日光線)下車、北口から徒歩約20分
 バス 栃木駅(北口)からふれあいバス「市街地循環線(西回り)」等で「藤沼酒店前」下車、徒歩1分
 車 東北自動車道、栃木ICから約10分

■ 駐車場 駐車台数 42台(おもいやり駐車スペース4台)、大型バス2台
 *要事前予約

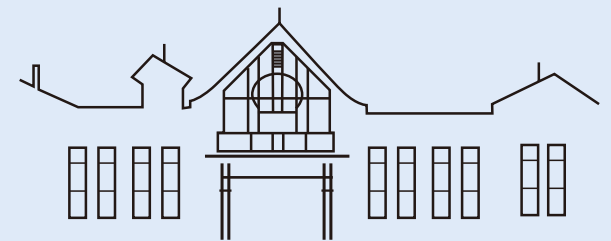
栃木市立美術館 〒328-0016 栃木県栃木市入舟町7-26 TEL:0282-25-5300
 栃木市立文学館 〒328-0016 栃木県栃木市入舟町7-31 TEL:0282-25-5400

栃木市立美術館 Tochigi City Art Museum



栃木市立美術館・文学館 展覧会スケジュール

2026年4月 - 2027年3月 (令和8年度)



栃木市立文学館 Tochigi City Literature Museum

中原淳一展

4/11①-6/14②



中原淳一「原宿裏街の少女」
〔ひまわり〕第9巻第9号表紙
©©NICHIE NAKAHARA / HEMAWARITA

中原淳一「おもひ／絵巻」

中原淳一(1913-1983)は、雑誌編集をはじめイラストレーション、ファッションデザイン、インテリアデザイン、創作人形など多岐にわたり才能を発揮しました。本市ゆかりの小説家・吉屋信子の『花物語』に挿絵を提供したことでも知られています。本展は発前から戦後に中原が携わった雑誌『少女の友』『それいゆ』『ひまわり』『女の秘蔵』などの雑誌や著作本の原簿、挿絵、付録を展示し、彼の活動を紹介します。

展示室A
一般/大高生800(640)円 中学生以下無料 ()内は20歳以上の団体料金

生誕100年 安野光雅展

7/4①-9/23②③



安野光雅「海の絵巻Ⅳ」〔アメリカ編〕挿絵
©徳島工芸 資料野町立安野光雅美術館蔵

数多くの絵本で愛された安野光雅(1926-2020)の世界を安野の故郷島根県にある津和野町立安野光雅美術館のコレクションから紹介します。旅や空想、文字から生まれる作者の豊かな発想から、大人も子どもも楽しみながら多くの気づきを得ることでしょう。

展示室A
一般/大高生800(640)円 中学生以下無料 ()内は20歳以上の団体料金

絵師も動物も、人気モノ勢揃い
動物たちの浮世絵

10/10①-12/13②



月岡牙舟「風俗三十二相」
うさぎのうさぎ 寛政年間製紙女之鳥考



歌川牙舟「新撰動物大衆之図」

江戸時代から明治時代まで愛された浮世絵には、人とかがわりをもつ動物たちが多く登場します。動物たちはかわいらしい姿や滑稽な姿はもちろん、風刺を込めたり事件を伝えたりなど当時の世相を知らせてくれる役割をもった姿でも認められることがあります。歌麿、広重、北斎、国芳ら人気絵師によって描かれた動物たちをお楽しみください。

展示室A
一般/大高生800(640)円 中学生以下無料 ()内は20歳以上の団体料金

刑部人展

2027年
1/16①-3/22②③



刑部人「天平吉幸(海船吉幸)」
鳥居屋



刑部人「山ごみのる」
鳥居屋

本市御賀町家中に生まれた刑部人(1906-1978)は昭和時代の日本各地を旅し、四季折々の風景を描きました。桜からりんごへと花を追い、夏の渓流、秋の胸躍たる紅葉、そして凍りつく冬の雪景色と、画家の筆は見る者を日本の豊か自然へと誘います。

展示室A
一般/大高生800(640)円 中学生以下無料 ()内は20歳以上の団体料金

収蔵品展

収蔵品展Ⅰ 展示室C 4/11①-6/14②
一般/大高生330(260)円 中学生以下無料 ()内は20歳以上の団体料金

収蔵品展Ⅱ 展示室C 7/4①-9/23②③
一般/大高生330(260)円 中学生以下無料 ()内は20歳以上の団体料金

収蔵品展Ⅲ 展示室C 10/10①-12/13②
一般/大高生330(260)円 中学生以下無料 ()内は20歳以上の団体料金
書多し歴史の美観を堪能「高」の書「高」の書「高」の書に高麗紙の美観を堪能していただきます。

収蔵品展Ⅳ 展示室C 2027.1/16①-3/22②③
一般/大高生330(260)円 中学生以下無料 ()内は20歳以上の団体料金

國學院大學栃木学園図書館所蔵資料展

本が伝える 人が教える 一地域の知の拠点

共催：学校法人 國學院大學栃木学園

8/23①-9/4②は展示終了のため企画展は休展です。4/18①-9/27②



川端康成『伊豆の舞子』(資料
國學院大學栃木学園図書館蔵)

2階多目的室
一般/大高生330(260)円 中学生以下無料 ()内は20歳以上の団体料金

栃木市に所在する國學院大學栃木学園は、短期大学・高等学校・中学校・幼稚園を擁する学園で、1963(昭和38)年に設立されました。その歴史は1959年に栃木市と県内神社界の要請により高校の開設が決まり、翌年に設置・開学したことに始まります。1966年には県内初の女子短期大学も開学しました。また、短大機関である図書館の蔵書は、約30万冊を誇ります。本展では、図書館の所蔵する書籍を中心に短大が「知の拠点」として地域に果たした役割を紹介します。

吉屋信子と宇野千代

2027年
10/10①-3/22②③



宇野千代
国立国会図書館蔵
「近代日本人の肖像」より

吉屋信子(1896-1973)と宇野千代(1897-1996)は、大正から昭和にかけて活躍した日本を代表する女性作家です。互いに影響し合い、認め合った二人は交流を深め、親しい関係を築きました。1939(昭和14)年に宇野が小説家・北原武夫と結婚した際には、吉屋が作家・藤田綱治とともに媒酌人を務めています。本展では、重要な経歴も多く、同時代に活躍した二人の著作を中心に紹介します。

2階多目的室
一般/大高生330(260)円 中学生以下無料 ()内は20歳以上の団体料金

1階とちぎサロン

旧栃木市役所庁舎に関する展示、市ゆかりの先人たちの紹介、日立製作所創業者・小平浪平に関する展示

1階とちぎサロン
無料

常設展等

2階常設展示室

山本有三・吉屋信子・梶田トヨを中心に市ゆかりの文学に関する展示

2階常設展示室
一般/大高生720(170)円 中学生以下無料 ()内は20歳以上の団体料金



小平浪平 栃木百歳



山本有三 個人蔵



吉屋信子 国立国会図書館蔵
「近代日本人の肖像」より



梶田トヨ ©引田匠史